

## 7. 月見山駅 <離宮道・須磨離宮公園>

月見山というなんとも風流な名の駅を降りて、西へ進むと離宮道に出る。市民の森に指定されている離宮道は、山陽電車踏み切りから離宮公園までの南北に続くクロマツの並木道（写真1）である。周囲の街並みともよく調和して美しい景観だ。大正2年離宮造営時に、道路が整備されクロマツが植えられた。離宮道を北へ進むと須磨離宮公園に到着する。

公園の中へ入ると、有名な欧風噴水公園があり、バラ園が開花の時期である。

この公園でぜひとも見たいのが、中門広場にある市民の木に指定されている巨大なクスノキ（写真2）である。樹齢不明、木の高さ16m、幹まわり4.7mのクスノキは街路樹のように剪定されることもなく、生涯にわたって伸び、茂るままに成長してきたという印象だ。枝は伸びるに任せ、随所にその重量を支えるための支え棒が置かれている。このクスノキには連理の枝を見ることができる。その重なる枝を見上げながら、どのようにこの現象が進んだのか思いめぐらせると、しばし時がたつことを忘れる。

（竹屋 仁 記）



写真1 離宮道



写真2 中門広場のクスノキ